

# イベント実施報告

## 卵のおまつり!?「イースターin平川動物公園」を行いました

このイベントは、一部キュービー株式会社南九州営業所のご協力をいただき開催しました

クリスマスやハロウィンなど、様々な季節のイベントが盛り上がるようになってきましたが、「イースター」はまだ馴染がないのではないのでしょうか。イースターといえば、そのシンボルとして知られているのが復活(繁殖)の象徴である「卵」と繁殖(多産)の象徴である「ウサギ」。どちらもいる動物園で、このイベントをしない理由はない!ということで、初めて開催しました。楽しく参加し、卵やウサギについて知ってもらうために、ウサギや卵のジオラマとの記念撮影、卵に関するクイズラリー、そしてエッグアートを企画しました。



▲ヒナになった気分!?



▲卵の観察のあとにエッグアートに挑戦!



▲エッグハントならぬ「キュービーハント」。園内6か所にクイズを携えたキュービーが出没!

期間中は天候にも恵まれて多くの方に参加していただきました。イースターはイエス・キリストが復活した日を祝う、キリスト教の方にとって、とても重要な日です。動物についてはもちろんですが、イベントや動物を通して、世界の多様な文化についても知っていただけるようなイベントを今後も企画したいと思います。

## どうぶつ館



大きな体と長い鼻を持つインドゾウ。よく知られている鳴き声は「パオン!」というラッパ音だけど、この声はびっくりしたり、うれしかったりして興奮したときのものなんだよ。いつもは低くのを震わせるように静かな声を出してゾウ同士会話をしているけど、この声はなんと10km先まで届いているといわれるんだ! 体が大きいから食べる量も多い! 1日に100kg以上の草や木を長い鼻を上手にを使って食べているよ。大きいものは100kgを超える丸太、小さいものはピーナッツくらいの物までつかんだり口まで運んだりできるよ!



鹿児島市平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1  
 TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328  
 ■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)  
 ■休園日:12月29日~1月1日  
 URL <http://hirakawazoo.jp/>  
 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>  
 Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>  
 動物取扱業の種類:展示 登録番号:生衛動取 第357号 登録の年月日:H28.5.11  
 有効期間末日:H33.5.11 動物取扱責任者:桜井普子

携帯サイトへアクセス!



ZOOっと平川 vol.23 2019年7月発行

編集・発行



〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号  
 TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690  
 URL <http://k-kouenkousya.jp>  
 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

# ZOOっと平川



特集1  
**飼育員の一日 (サイ飼育員の巻)**  
 特集2  
**コアラの名前が決定しました!**

# 飼育員の一日



サイ飼育員の巻

シロサイとクロサイ、皆さんはパッと見ただけで区別がつかますか？見分けるポイントは「口の形」です。シロサイは地面に生えた草を刈り取るようにして食べるので平べったい形をしています。クロサイは木の枝葉が主食なのでつまみやすいように尖った形をしています。16時以降は2頭とも隣同士の寝室でエサを一心不乱に食べているので、違いを観察するにはもってこいの穴場スポットです。

また、気づかずにスルーされる方も多いですが、クロサイのサニーは15時頃までサイ舎横の展示場で見られます。ぜひサイ舎へお立ち寄りください！

現在サイはインドサイ、ジャワサイ、スマトラサイ、シロサイそしてクロサイの5種に分類されていますが、平川動物公園はシロサイとクロサイを飼育しています。今回はサイ担当の飼育員の一日を紹介します。

飼育担当者：原田彩夏・大沼美聡

私たちが2人で担当しています。その他にはシマウマ、水鳥、ツルなどを担当しています。



シロサイの平べったい口先



クロサイの尖った口先

## 平川動物公園のサイたち

### ミナシロサイ シノ(メス)

シロサイの亜種です。南アフリカ、ナミビア、ボツワナなどに生息しており、主に3~4頭の家族単位で生活しています。5種のサイの中では最も大きく、陸上で生活する動物の中ではゾウの次に体重が重い動物です。シノはマイペースな性格で、飼育員に触られることが大好きです。普段アフリカ園ではのんびりと過ごしていますが、雨が降るとテンションが上がって走り回ることもあります。



### ヒガシクロサイ サニー(メス)

クロサイの亜種です。南アフリカ、ナミビア、ケニア、ジンバブエそしてタンザニアに生息しており、深いやぶ、まばらな森林で生活しています。シロサイと違い、普段は単独で生活しています。驚くと時速45km程で走ることができるといわれています。サニーは人懐っこい性格で、柵近くに寄ってくることもしばしば。展示場にある石は休憩をする際に「あご置き」として使っています。



## ある日のスケジュール

8:15~

### 朝の巡回と観察

サイ・シマウマ舎、ツル舎を巡回し動物の様子を観察し、異常がないかを確認します。同時にエサの食べ残しの有無も確認します。

8:25~

### フライングケージの掃除・給餌

フライングケージでくらす鳥たちの羽数を数え、全羽いるか確認し、通路と池を洗い流します。その後、野菜と鳥用のペレットを混ぜたエサを給餌します。



ふん糞と落ち葉を流します

9:15~

### 展示場点検、放飼

展示場に異常がないかを確認し、それぞれの展示場に朝のエサを設置します。サイ・シマウマを放飼した後、採食を確認します。

シロサイのシノは、アフリカ園に出るまでに、泥浴びや木の枝で角をこすったりします。なかなかアフリカ園に出ないときもありますが、動物の気分に合わせてじっと待ちます。

シマウマたちは我先にと勢よく飛び出します



この日はシマウマに挨拶をしに行っていました



9:30~

### サイ・シマウマの寝室の掃除

陸上で生活する動物の中でゾウの次に体重が重いのがサイです。そのため、糞も大きくて重い!!シマウマも6頭飼育しているため、毎日たくさんの糞がでます。

さらに、必要に応じてエサとなる乾草運びや寝室の消毒も行います。

サイ1頭分の糞で、90ℓのバケツがいっぱいになります



バケツいっぱいになった糞は処理業者に引き渡します



## 12:00～ 昼休み

昼食をしっかりとり、午後の作業に備えます。動物のことやプライベートな話で盛り上がることも。



## 13:00～ ミーティング

動物の状態や作業内容、イベントについて報告し、情報を共有します。

## 13:30～ サイ・シマウマのエサの準備

各動物舎の巡回の後、主なエサである乾草を各寝室に置いていきます。日によって、寄付で頂いたキャベツや刈りとったばかりの青草もあります。



シロサイのシノは一日に乾草を17kg程食べます

## 13:45～ フライングケージの給餌

エサとなる魚を、水を入れたトレーに置きます。飼育員がいると警戒して食べに来ませんが、気長に待ち続けると魚を食べる様子が見られるかも！

キビナゴ、シシャモ、アジ、オキアミを与えています。



## 14:00～ ツル舎の掃除・給餌

糞をとり、プールをブラシでこすってきれいにします。その後ツル用のペレット、魚などを給餌します。

## 15:00～ クロサイ・シマウマを収容

クロサイ・シマウマをそれぞれの部屋へ収容し、展示場を掃除します。

寝室に用意したエサをムシャムシャ



## 15:45～ シロサイ収容

収容の時間が近づくとソワソワ…。いつもゲートの前で待機しています。ゲートを開けると寝室に用意してあるエサに向かって一直線！！



キリンも一緒に寝室へ帰ります

## 16:00～ 鳥類のエサの準備、展示場整備

翌日に使う鳥類のエサを準備します。エサにはビタミン豊富な小松菜、キャベツ、動物用のソーセージを使っています。また、展示場の整備などもこの時間に行います。

鳥類に与えるエサは、食べやすさを考えて約5mm角に刻みます



## 17:00～ 日誌の記入

その日の動物の体調・行動を記入します。毎日の記録の積み重ねが今後の飼育に役立ってきます。

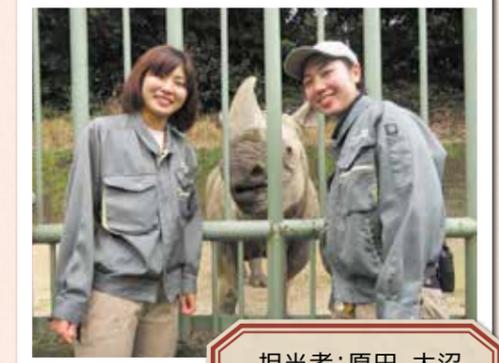
### 入浴後、退社

お風呂ではいつも動物の話題で盛り上がります。疲れを洗い流し、また明日も頑張りましょう！



## 飼育員からひとこと

現在、サイが絶滅の危機にさらされていることを知っていますか？サイといえば立派な角ですが、その角を目当てに今もなお密猟され続け、高値で取引されています。「カッコいい」だけでなく、サイがおかれている現状を知った上で、見てもらえると嬉しいです。そして9月22日は世界サイの日。平川動物公園でもこの日に合わせてサイのトークイベントを実施します。なぜ角が狙われるようになってしまったのか等をお話しようと思うので、ぜひお越しください。



担当者：原田、大沼



# コアラの 名前が決定 しました!

4月27日に3頭のコアラの命名式を行いました。

名前募集は3月9日から4月7日まで行い、応募総数は約16,000通でした。その中から、選定委員会によって名前を最終決定しましたが、新元号となる節目にちなんだ名前や母親にちなんだ名前など、親しみのこもった呼びやすい名前となりました! 現在の様子と合わせ、1頭ずつご紹介します。

父 ブンダ 母 コメ

**ユイ**  
(メス)

2018年6月25日生まれ

甘えん坊で、母親が移動するとすぐに後を追いかけてきます。名前は母親の「コメ」から「ユ」の1文字をもらいました。多くの方が「ユイ」と応募してくださいました。

父 バンブラ 母 ココロ

**セイ**  
(オス)

2018年6月26日生まれ

好奇心旺盛で1頭で動き回ったり、飼育員に近づいてきます。旧元号の平成にちなんで「セイ」と名付けられました。

父 ブンダ 母 ジェイン

**レイ**  
(メス)

2018年8月12日生まれ

ちょっぴりおてんばで母親の周りを活発に歩き回っています。新元号の令和にちなんで「レイ」と名付けられました。

北海道から沖縄まで、たくさんのご応募と、素敵な名前を付けていただきありがとうございました。かわいく、そしてたくましく成長していく3頭に会いに、ぜひ遊びに来てください。

担当者: 永榮・望月

## ボランティア 活動報告

平川動物公園では2016年の4月から「平川動物公園ボランティア」としてボランティア制度を導入し、現在は20代から70代までの25名が登録し、活動をしています。ボランティア活動は、各自が自主的に行う奉仕活動です。発足当初は、「何ができないかわからないけど、何かしたい」というスタッフに、こちらからテーマを提案し活動してもらうことが多かったのですが、丸3年経った今では「こんなことをやってみよう!」という声が出ようになってきました。今回は、その活動の中からいくつかをご紹介します。

### ヒツジ隊

名前が既に関心のある活動。「ヒツジの毛刈り&クイズ大会」や「大人のための羊毛教室」、「羊毛工作教室」等のヒツジに関するイベントの補助を行っているスタッフが中心となり、刈り取った羊毛をイベントで使うことができる状態にするまでの作業を行っています。定期的に集まって作業を行うことで、毛糸ができるまでの工程を知ることができます。クリスマスの時期には、「羊毛で雪だるまを作ろう!」というイベントも実施しています。作業にはだいぶ慣れてきたので、今後の目標は「運営や参加者への解説もボランティアスタッフが行う」ことです。



羊毛をひたすら洗って汚れを落とします



羊毛で作った玉に装飾を施し、完成!

### コアラコーナー作り

「コアラについてのコーナーを作ませんか?」と提案したところ、色々な案が挙がりました。現在は、コアラの解説パネルの掲示、コアラのQ&A、そしてコアラの重さ体験、この3つを展開しています。写真撮影や裁縫が得意なスタッフの腕が光っています。



手の形や行動について、わかりやすい解説

### 折り紙タイムもバージョンアップ!!

「ZOOっと平川」vol.16でもご紹介した人気の「折り紙タイム」。今では飼育員からのオファーが来るようになりました。講演会「めざせ世界自然遺産! 奄美群島の自然と生き物」では、「スペシャル折り紙タイム 奄美の森をつくろう!」を行いました。講演会に登壇した奄美群島の固有種、問題となっているノネコやマングースの折り紙を、本来いるべき場所に配置していくと奄美の森カードができるというものです。毎回のことながら、クオリティの高さには驚きの声がありました。



それぞれの生息地に動物の折り紙を貼ってもらいました

趣味や特技を活かしているスタッフ、イベント補助の回数をこなし、お客様目線の的確な意見でイベントをより良い方向へ導いていくスタッフ、優しく人懐っこい笑顔と口調で来園者への案内をするスタッフなど、それぞれの長所が少しずつ絡み合ってきていると感じています。ボランティアスタッフが主体となり活動しやすい環境・関係作りにも今後も努めていきたいと思っております。

担当者: 落合(祐)

# 調査研究報告

動物園の役割の一つに「調査研究」があります。動物の飼育を通して得られた知識や情報は動物の飼育技術の向上だけでなく、動物園を訪れる方々へ広く公開することにより動物への理解を深めることができます。また、野生動物の生息地での保全活動に活用することもできます。

## 2018年(2018.1.1~2018.12.31)に行った調査研究発表

実施月	研究タイトル	場所	研究会名	発表者
1月	平川動物公園におけるチンパンジーの出産と出産後の群れ作りについて	沖縄こどもの国(沖縄市)	平成29年度九州沖縄ブロック飼育技術者研究会	小村圭・森香奈・福守朗
1月	家畜とヒトの関わりについての普及啓発の新たな取り組み	沖縄こどもの国(沖縄市)	平成29年度九州沖縄ブロック飼育技術者研究会	角田萌子・菊村風穂・落合祐子・福守朗
2月	コツメカワウソの飼育下自然繁殖と仔の体重測定による成長記録	大阪海遊館(大阪市)	第3回コツメカワウソ計画推進会議	海道夢紀・落合晋作
2月	奄美大島で保護されたアマミノクロウサギの搬入と飼育個体の野生復帰について	奄美観光ホテル(奄美市)	平成29年度奄美希少野生生物保護増殖検討会	落合晋作
7月	インドクジャクの肺炎の一例について	平川動物公園	第33回九州沖縄ブロック動物園水族館獣医師臨床研究会	前谷史恵・海道夢紀・落合晋作・伊藤綾夏・浅井隆之
7月	腸炎で死亡したカピバラの一例	平川動物公園	第33回九州沖縄ブロック動物園水族館獣医師臨床研究会	伊藤綾夏・桜井普子・前谷史恵・浅井隆之・永峰令子・河野めぐみ・川口博明(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科衛生学)
9月	チンパンジーの闘争とメスの性皮腫脹の関係性について	とちプラザ(帯広市)	第66回動物園技術者研究会	小村圭・森香奈・伊藤ななお・前谷史恵・伊藤綾夏・桜井普子・福守朗
9月	マントヒヒとの混合展示下におけるパーバリーシブの繁殖	とちプラザ(帯広市)	第66回動物園技術者研究会	鈴木大河・松元悠一郎
9月	アマミノクロウサギの潜在精巢の一例	とちプラザ(帯広市)	第66回動物園技術者研究会	前谷史恵・落合晋作・海道夢紀・桜井普子・伊藤綾夏・浅井隆之・伊藤ななお・伊藤圭子(奄美いんまや動物病院)・大和修・三浦直樹・岩永朋子・古澤悠(鹿児島大学共同獣医学部附属動物病院)
11月	動物の社会性を守るために	東海大学熊本キャンパス(熊本市)	第21回SAGAシンポジウム	福守朗
11月	チンパンジーの複雑雌群形成と母子の安全確保を目的とした発情抑制について	東海大学熊本キャンパス(熊本市)	第21回SAGAシンポジウム	小村圭・森香奈・福守朗
12月	動物を通して「鹿児島らしさ」を伝える	島根県立青少年の家サン・レイク(出雲市)	第59回日本動物園水族館教育研究会出雲大会	落合祐子・落合晋作・浅井隆之((合)南九州野生動物保護管理センター)・桜井普子・福守朗
12月	アジアゾウにおける皮膚水分量の簡易測定の試み	京都市動物園	第28回ソウ会議	落合晋作・海道夢紀・松元悠一郎・鈴木大河
12月	ブラジルバクにおける繁殖に向けた取り組み	海の中道海浜公園(福岡市)	平成30年度九州沖縄ブロック飼育技術者研究会	永峰令子・松元由貴・河野めぐみ・伊藤綾夏・前谷史恵
12月	ミーアキャットの人工哺育個体と自然哺育個体の成長比較	海の中道海浜公園(福岡市)	平成30年度九州沖縄ブロック飼育技術者研究会	松元悠一郎・鈴木大河・桜井普子・前谷史恵・伊藤綾夏

### 最優秀ポスター発表賞を受賞しました!

2018年12月に開催された第59回日本動物園水族館教育研究会出雲大会では、「動物を通して「鹿児島らしさ」を伝える」で最優秀ポスター発表賞をいただきました。平川動物公園では、「南国鹿児島らしい特色ある動物公園」をテーマの一つとして事業を進めています。鹿児島の特徴として、棕鳩と野生動物問題、鹿児島竹産業、そして西郷隆盛について動物を通して知っていただくために開催したイベントを紹介しました。動物飼育の技術だけでなく、イベントや取り組みについても評価・改善を行い、企画運営に活かしていきたいと思っております。

## あかちゃん紹介

# むぜもんじや

むぜもんじや:鹿児島弁でかわいいねの意味

## アカアシガメ(1頭)

生年月日:2018年11月29日 性別:不明

は虫類館では、久しぶりにアカアシガメの赤ちゃんが誕生しました。約140日間の卵の中での生活を密着取材!

### 【卵の中の成長】



1 一定の温度で温め続け、60日ほど。卵の中に血管が見えます。



2 90日ほど経過すると、赤ちゃんの姿が見えます。



3 137日目 赤ちゃんから「お外に出るよ〜」の合図「はしうち」が始まりました。



4 140日目「はしうち」の合図から3日が経過。やっと体が出ました! 赤ちゃんは休憩しながら硬い殻を割って出てきます。



5 ※口先で卵の殻をつつき始めること。

今では体重76g、甲長72mmと、ゆっくり成長しています。

アカアシガメの展示場にあります。会いに来てお!

## ワオキツネザル(1頭)

生年月日:2019年3月4日 性別:不明

マダガスカル南部の林などに生息しています。名前の由来は、尾の黒と白の模様が輪のように見えることから「ワオ(輪尾)」、顔がキツネに似ていることから「キツネザル」です。

### ①誕生



3月4日の夕方、いつも通り夕方のエサを与えていると、ヨシノ(母親)のお腹にしっかりとしがみ付いた赤ちゃんを見つけました。

### ②とても活発に



生後約2週間を過ぎると体格も、だいぶしっかりとした印象にお腹にしがみついた状態から、背中や腰などに移動する様子も確認できるようになりました。群れ内の大人たちも赤ちゃんに興味津々です。ヨシノに近づく度に、赤ちゃんを覗き込んで観察しています。

### ③ヨシノから離れて行動

生後4週間を過ぎた頃から、1頭で行動するようになりました。ヨシノは赤ちゃんの動きを目で追い50cm程離れる度に、必ず迎えに行き、まだまだ心配なようです。

### ④現在は

体格もより大きくなり、1頭で行動することも増えました。赤ちゃんは、他の大人たちにちょっかいを出しては、遊び相手になってもらっている様子です。

## こんな動物

分類:霊長目 キツネザル科  
分布:マダガスカル島南部  
食性:雑食性。果実、木の葉、昆虫など。

## こんな動物

分類:カメ目 リクガメ科  
分布:アルゼンチン北部、コロンビア、ブラジルなど  
食性:雑食性。キノコ、果実、昆虫や動物の死骸など  
繁殖形態:卵生で卵はピンポン玉ほどの大きさ。  
140日~150日程度でふ化する

# イベント実施報告

## ワークショップ「ボルネオって知ってる?～野生生物の宝庫の自然を感じてみよう～」を開催しました

当園は国内の6園館(当園の他、旭川市旭山動物園(北海道)、豊橋総合動植物公園(愛知県)、福岡市動物園(福岡県)、那須どうぶつ王国(栃木県)、神戸どうぶつ王国(兵庫県)とNPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン(以下、BCTJ)と協力し、ボルネオの生物多様性の保全に協力するプロジェクト「ボルネオ保全プロジェクト」に参加しています。これを記念して、BCTJの森井理事と池田理事をお招きし、2019年1月13日(日)にワークショップを開催しました。

当日は24名の方の参加があり、オランウータンになりきって森を移動する「生息地分断ゲーム」や当園職員による「平川動物公園で暮らすボルネオにすむ動物たち」の紹介がありました。大規模なプランテーション開発や森林伐採による影響で、豊かな自然や、オランウータン、ゾウ等の希少種が減少の危機にある状況を感じていただきました。

動物園を通して野生動物の暮らしや問題など知っていただくために、今後も野生動物がおかれている状況について、紹介できるイベントやワークショップを開催していく予定です。



▲生息域が狭まっていく様子を実感



▲豊かな森で暮らすボルネオオランウータン

## ふれあいウォークin平川動物公園&錦江湾公園

平川動物公園と錦江湾公園の一体的活用として「ふれあいウォークin平川動物公園&錦江湾公園」を2019年3月16日(土)に実施しました。晴天に恵まれ、チェックポイントを周りながら、錦江湾公園では見晴し広場からの景色を楽しんでいただき、動物公園ではゾウのバックヤード解説や、コアラのお食事タイムをご覧いただきました。当園と錦江湾公園ならではのウォークラリーは今年度も実施予定ですので、運動がてら、ぜひご応募ください。



▲桜島をバックに散策



▲チェックポイントがゾウのバックヤード!

## 動物を守れ!世界野生生物の日を行いました

皆さんは「ワシントン条約」または「CITES(サイテス)」という単語を聞いたことがありますか?正式には「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」(Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora:CITES)といいます。世界野生生物の日は、ワシントン条約が1973年3月3日に採択されたことを記念し、2013年に国連が制定しました。平川動物公園では昨年に引き続き2回目の開催となり、クイズラリーや動物のガイド、ひな祭りと合わせた展示を行いました。ワシントン条約では保護の必要性に応じて、対象となる動植物は国際取引が3つのランクに分けられた「附属書」に記載されています。国際取引や条約など、私たちの普段の生活では無関係のように思えますが、海外旅行でお土産を購入する際には十分注意が必要な物も多く含まれています。当園で現在飼育している140種類(2019年5月末現在)のうち、79種類が附属書に掲載されています。普段動物園でみることができる動物が条約で保護されているのは意外に思うかもしれませんが、だからこそ動物園では多くの皆さんに動物たちの現状をお伝えしていくことができます。生態やかかわいらしさだけでなく、動物たちの現状を伝え、私たちができることを皆さんと一緒に考えていけるよう努めたいと思います。



▲サイの角を狙った密猟の数をグラフで説明



▲動物舎前に附属書のランクを記したパネルを掲示



▲前回も人気だったひな祭り最上段が最もランクの高い附属書Iに掲載されている動物

## めざせ!世界自然遺産!奄美群島の自然と生き物～平川動物公園の活動～を行いました



▲「あまくろ」も登場

協力:環境省 奄美野生生物保護センター

2020年は奄美群島を含む地域が世界自然遺産に登録される可能性があり、ますます注目される奄美群島。鹿児島県が誇る素晴らしい自然環境や固有種について、広く一般の方に紹介するイベント「めざせ世界自然遺産!奄美群島の自然と生き物～平川動物公園の活動～」を2019年3月24日(日)に開催しました。奄美群島で暮らすアマミノクロウサギやオトトラツグミなどの固有種や、直面している環境問題やマンガースやノネコなどの外来種問題などを、現地での活動が豊富な飼育員が紹介しました。また地元鹿児島にある動物園として当園が積極的に取り組む傷病保護と域外保全についても紹介しました。講演会の最後には、2017年3月にネコによる咬傷を受けて保護されたアマミノクロウサギのケンタも登場し、回復しつつある様子を参加者の皆さんに見ていただきました。



▲限定公開された「ケンタ」(オス)

世界自然遺産に登録されればこれまで以上に注目もされます。登録がゴールではなく、素晴らしい環境が後世に残せるように、動物園としてできる活動を継続していきたいと思っています。